

大阪府・市の環境衛生監視員向けトコジラミ実務研修にて、 トコジラミの情報提供と講演を実施

3月14日（木）、大阪府主催の「令和5年度 環境衛生監視員トコジラミ実務研修」が開催され、アース製薬 ブランドマーケティング部 原田係長が、トコジラミの生態や分布、有効な薬剤、対処方法について講演しました。

欧米ではトコジラミによる刺咬（しこう）被害に加え、宿泊施設での経済的被害などが社会問題となっており、国内での被害拡大も懸念されています。大阪府は2025年大阪・関西万博を控えており、来阪客の安全で快適な滞在を提供する為に、府域全体でトコジラミ対策を講じる必要があります。研修には、大阪府保健所環境衛生監視員（25名）、市環境衛生監視員（25名）、ほか保健所職員及び関係者（20名）が受講し、対策への理解を深めました。当社は、2022年11月28日に大阪府と包括連携協定を締結し、府民の安全・安心に関することや健康・保健衛生に関すること等、様々な取り組みを進めています。



講演後は多数の質問が寄せられました



トコジラミについてのパネルや標本、関連する虫ケア用品を展示